

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 2 区分
 【発行日】平成22年5月6日(2010.5.6)

【公開番号】特開2008-202693(P2008-202693A)
 【公開日】平成20年9月4日(2008.9.4)
 【年通号数】公開・登録公報2008-035
 【出願番号】特願2007-39750(P2007-39750)
 【国際特許分類】

F 1 6 H 55/48 (2006.01)
C 0 8 L 77/00 (2006.01)
C 0 8 J 5/08 (2006.01)
C 0 8 J 5/16 (2006.01)

【F I】

F 1 6 H 55/48
 C 0 8 L 77/00
 C 0 8 J 5/08 C F G
 C 0 8 J 5/16

【手続補正書】
 【提出日】平成22年3月17日(2010.3.17)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

転がり軸受と、該転がり軸受の周囲に前記転がり軸受と一体に形成された樹脂部とを備えた樹脂製プーリにおいて、前記樹脂部が、ポリアミド 6 6 樹脂を 6 0 ～ 8 0 質量%、非晶性芳香族ポリアミド樹脂を 1 5 ～ 2 5 質量%、低吸水性脂肪族ポリアミド樹脂を 5 ～ 1 5 質量%の割合で含む樹脂混合物 4 5 ～ 8 0 質量と、異形断面のガラス繊維 2 0 ～ 5 5 重量%とを含有するポリアミド樹脂組成物からなることを特徴とする樹脂製プーリ。

【請求項 2】

前記低吸水性脂肪族ポリアミド樹脂が、ポリアミド 1 2 樹脂、ポリアミド 1 1 樹脂、ポリアミド 6 1 2 樹脂及びポリアミド 6 1 0 樹脂から選ばれる少なくとも 1 種であることを特徴とする請求項 1 記載の樹脂製プーリ。

【請求項 3】

前記ガラス繊維の長径部と短径部との比率が 1 . 5 ～ 5 であることを特徴とする請求項 1 または 2 記載の樹脂製プーリ。

【請求項 4】

前記非晶性芳香族ポリアミド樹脂が、炭素数 6 のモノマー単位と炭素数 1 2 のモノマー単位とからなる脂肪族ポリアミド部分を分子中に含む非晶性変性ポリアミド 6 T / 6 I であることを特徴とする請求項 1 ～ 3 の何れか 1 項に記載の樹脂製プーリ。

【請求項 5】

炭素数 6 のモノマー単位が、6-アミノカプロン酸またはε-カプロラクタムであることを特徴とする請求項 4 記載の樹脂製プーリ。

【請求項 6】

炭素数 1 2 のモノマー単位が、12-アミノドデカン酸またはラウロラクタムであることを特徴とする請求項 4 または 5 記載の樹脂製プーリ。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１１

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１１】

上記目的を達成するために、本発明は、転がり軸受と、該転がり軸受の周囲に前記転がり軸受と一体に形成された樹脂部とを備えた樹脂製プーリにおいて、前記樹脂部が、ポリアミド６６樹脂を６０～８０質量％、非晶性芳香族ポリアミド樹脂を１５～２５質量％、低吸水性脂肪族ポリアミド樹脂を５～１５質量％の割合で含む樹脂混合物４５～８０質量％と、異形断面のガラス繊維２０～５５重量％とを含有するポリアミド樹脂組成物からなることを特徴とする樹脂製プーリを提供する。特に、前記低吸水性脂肪族ポリアミド樹脂が、ポリアミド１２樹脂、ポリアミド１１樹脂、ポリアミド６１２樹脂及びポリアミド６１０樹脂から選ばれる少なくとも１種であることが好ましい。また、前記ガラス繊維の長径部と短径部との比率が１．５～５であること、前記非晶性芳香族ポリアミド樹脂が、炭素数６のモノマー単位と炭素数１２のモノマー単位とからなる脂肪族ポリアミド部分を分子中に含む非晶性変性ポリアミド６Ｔ／６Ｉであること、炭素数６のモノマー単位が、６－アミノカプロン酸またはε－カプロラクタムであること、並びに炭素数１２のモノマー単位が、１２－アミノドデカン酸またはラウロラクタムであることが好ましい。